

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 平成29年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/12 大般若会併修大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 本堂撥遣法要会及檀家總會  
大施食会併蚕影山例祭法要
- 5/12~5/16 現代名僧墨蹟展
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7月下旬(一泊二日) 第36回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 11/1~11/5 梅花授戒会
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室
- ※宗務所執務日 毎週月・水・金曜日
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催

## 平成29年丁酉 住職年頭挨拶

### 謹賀新年



#### 「我逢人(がほうじん)」道元禪師

本年初に当たり、曹洞宗開祖の道元禪師のお言葉を紹介いたします。「我逢

人」は、「我、人と逢うなり」と申します。道元禪師は、中国宋に渡り正師を求め、遂に師匠となる天童寺の如浄禪師と邂逅。その悦びを、漢字三文字で表しました。

現在では、大本山總持寺貫首江川辰三禪師が、このお言葉を座右の銘とされております。意味は、人と人との出逢うこと、その大切さを表しております。人と人との出逢い、心と心の出逢い、人と物との出逢い等々。どれもが我々の人生に欠かすことの出来ない、貴いご縁であります。

「我、人と逢うなり」良き出逢いに感謝。善き時間に感謝。好き人に感謝。人は最初から全てが完璧に出来る訳ではありません。佳き師である人に逢い、自身がそして縁に繋がる皆が、精進し歩んで行くものであります。本年も、よき人に出逢える事に、感謝する年でありたいと思っております。

## 平成29年 年回表

一周忌	平成二十八年	二十三回忌	平成七年
三回忌	平成二十七年	二十七回忌	平成三年
七回忌	平成二十三年	三十三回忌	昭和六十年
十三回忌	平成十七年	五十回忌	昭和四十三年
十七回忌	平成十三年	百回忌	大正七年

- ※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
- ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。(但し、百回忌を除きます)

## 群馬県宗務所特派布教師巡回（会場、仁叟寺）



↑ 特派布教師 田中清元老師

去る10月7日、仁叟寺にて曹洞宗群馬県宗務所第14教区の特派布教師巡回が修行されました。布教師は、北海道薬王寺住職の田中清元老師。田中老師は、宗門を代表する布教師。仁叟寺住職と

### ↑ 特派布教師法話風景

同安居であり、国際禅文化交流会でも法縁があります。また、南米パラグアイに拓恩寺という禅宗寺院建立の為、尽力され、精力的に活躍されております。

当日は、多くの檀信徒はじめ梅花講員さん、教区の御寺院様をお迎えし、聞法の集いが勤められました。田中老師の法話は、伺ってありました通り、ストーンとココロの中に入って参りました。参加された皆さんも、素晴らしいひと時が過ごせたと思っております。天候にも恵まれ、秋天爽やかな心持ちで過ごせましたこと、有難く感じております。

## 関東管区婦人会研修会～開講式、ネルケ無方老師法話、婦人会コンサート～（会場、仁叟寺）



↑ 関東管区婦人会研修会風景

去る11月4日、曹洞宗関東管区宗務所婦人会の第41回研修会が、仁叟寺にて修行されました。関東管区は首都圏一都七県で構成され、昨年は群馬県宗務所が当番県となっております。

始めに主催当番県であり群馬県宗務所長の仁叟寺住職導師のもと開講

式が本堂にて勤めました。後、兵庫県安泰寺住職、ネルケ無方老師にご法話をいただきました。ネルケ無方老師は、ドイツ出身。禅に関する著作も多く、現在は兵庫県の山奥にある安泰寺にて修行僧と共に自給自足の生活を送っております。

昼食を当山で召し上がっていただき、午後は地元群馬県桐生市の合唱団及び深津素子先生らによる婦人会コンサート。大いに盛り上がりました。

天候にも恵まれ、約350名もの大勢の方々が参加。宗務所はもとより群馬県婦人会、県青年会の多くの法助の中、良き研修が勤められました。

→ 研修会の様子が上毛新聞記事に掲載されました

高崎 曹洞宗婦人会の  
4日、高崎市吉井町の仁叟寺で開かれ、ドイツ出身で兵庫県の安泰寺の住職を務めるネルケ無方さん(48)による講演会などが行われた。  
ネルケさんは「遠路はるるはるニッポンへ！青い目が見たZEN」と題して講演。ユーモアを交え、禅を学びにドイツか

### 外国人が見た「禅」 ドイツ出身の住職語る



柔らかい語り口で会場を楽しませた  
ネルケさん

ら来日した経緯などを語った。  
16歳の時に初めて禅を体験し、「姿勢が変わると自分が変わる」と感じ、以来禅を続けていたと説明。子どものころから、なぜ人は生きるのかという疑問を抱き続けていたと話し、「お釈迦様も同じ問いを持っていたと知り、親近感を抱いた」と振り返った。

## 梅花授戒会が修行されます

本年11月1日より5日に掛けて、授戒会が修行されます。梅花部60周年及び青年会55周年を記念し、住職が所長を務めております曹洞宗群馬県宗務所が主催となり、戒場を桐生市大雄院様にて開催する運びとなりました。本県では、青年会50周年を記念し、大本山總持寺貫首江川辰三大禪師猥下を招聘し、仁叟寺で修行されて以来、5年振りの大法要となります。

青年会55周年のほか、梅花部60周年を記念する同法要ですので、梅花流詠讃歌及び同講習も法要内次第に入っております。梅花講の皆様には、奮っての参加をお願いいたします。

今回は、戒師を宗務所長である仁叟寺住職が、教授師を会場主であり梅花部長である大雄院住職橋本恵一老師が、引請師を金龍寺住職青木龍峰老師が、また、説戒師を長楽寺住職峯岸正典老師が、それぞれお勤めになられます。

一般参加者は、2日から5日迄の参加となりますが、長時間に亘る法要のため、3日から4日の一泊二日、3日から5日の二泊三日での参加でも受け付けております。ほか、亡戒といい亡くなられた方に対しての法供養として、ご戒名での参加受付もごさいます。難値難遇の機会であり、正式なお申し込みは、要綱及び式次第等が完成する今春よりとなります。是非ご参加いただきたく、茲にご案内を申し上げます。



↑ 授戒会ポスター  
題字は仁叟寺住職筆

## 自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



← ボランティア風景 (南相馬市小高地区) 慰霊法要 (新祥寺)

去る11月1日から2日に掛けて、福島県南相馬市に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会有志8名と福島県曹洞宗青年会の会長ほか有志6名、合計14名で、福島県被災地域である南相馬市小高地区にて奉仕活動をさせていただきました。

今回も南相馬市の新祥寺野田精顕副住職に窓口になっていただき、作業に当たって準備を行っていただきました。有難うございました。

初日の1日は、福島市にある曹洞宗東日本大震災被災地復興支援分室に伺い、久間主事老師より現在の状況をご教授頂きました。青年会が来年55周年を迎え、記念事業が控えておりますが、その支援に際し、実りあるお話しが出来たものと思います。ほか慰霊法要を新祥寺様本堂にて青年会長である住職導師のもと、修行いたしました。

2日目は、公会堂の清掃作業及びボランティア

センター引越作業等を行い、皆と共に汗を流しました。

